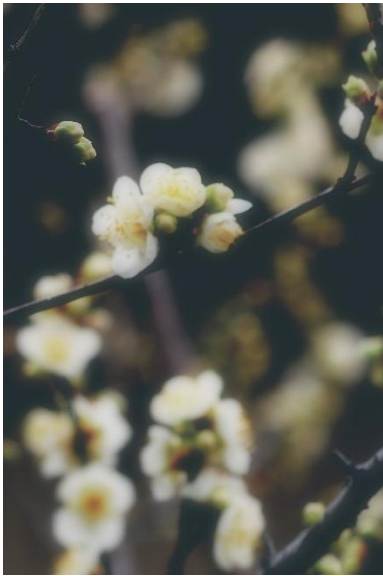


東光寺たより 50

白い梅が咲き誇り・・・

当山の近所に早咲きの梅が咲き誇り春の到来を告げてくれています。梅花和雪香(ばいか ゆきにわして かんばし)という禅語が有ります。今シーズンは特に雪が多く梅の花も寒さに耐えて花開く、そんな一刻を見せてくれています。ただ、香りや風光を楽しむのみではなく悟りの世界だと気付けるように精進してまいりたいものです。



誕生日でした♪

住職の誕生日らしいってねー2/9は・・・一緒に過ごしてあげよっかな。快くボクを迎えてくれた恩も有るしね。隆和尚ーおめでとうございます！



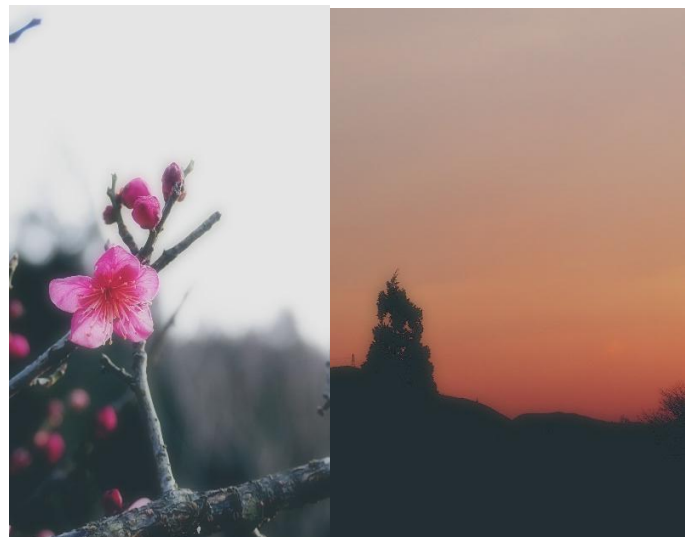
管長さんの手ぬぐい

毎年、本山から管長さんが書かれた手ぬぐいが出来ましたと告知を受けるのです。今回は是非とも購入して関係各位の皆さんにお配りしようかと思ひ、準備します。以前は、住職の師匠が管長時代に印刷した手ぬぐいを絡子の裏に縫い付けてもらったりして同心同行の心境でした。今回、手ぬぐいを貰った皆さんは、どのように使われるのでしょうか？汗を拭うのに使うのか？はたまたお椀を拭くのに使うのか？眺めて、その意味を感じて過ごすのか？使い方は様々ですね。



日が長くなりました♪

雪が降る日も有れば、日が沈む時間も遅くなってきました。梅を夕陽と撮ってみます。儂い一刻ですね。



ヴァレンタインですね♪

この日は、子供たちがチョコレートを買ってきては作り直しておりました。住職用にも作ってあって食べて土曜の昼間を過ごしました。いやもとい、つまみ食いでした。そうちゃんは見ていたの構図。



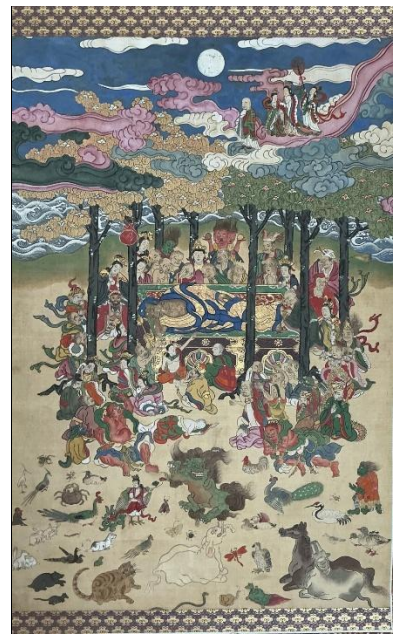
ボクにもバレンタインくださいよおー

隆和尚には、バレンタイン有るのにボクには無いのはおかしいんだ的なそうちゃんです♪まあ何かしらおやつ貰ってるから良しとすっかな♪にしても何でチョコレートなの？疑問に思うんだ♪



涅槃会を勤めました♪

涅槃会は、釈迦の入滅を偲び、悟りの境地である涅槃を称える法要であり、涅槃図や団子まきなどの風習を通して、参拝者が仏教の教えや釈迦の生涯を学び、心の安らぎを得る機会となっています。住職も若き頃、初めて道場で涅槃会の法要に参加しました。当時の役目はお経関係の業務を司る役職に付いていたので太鼓を叩いて導師を迎え入れる稽古をしていました。そして当日導師を迎え入れるべく叩くのですが、下手くそと怒られてしまいました。これが住職の涅槃会の思い出です。その後、太鼓を叩く機会には進んで叩き、涅槃会の一刻を思い出すようにしているのです。肝心の涅槃会は早朝、厳修したのでは言うまでもありませんね。



稲葉山城へと

稲葉山城の麓のお寺さんの行事への加担はもう 20 年近くになります。此度も声を掛けてもらい尺八を吹いてまいりました。最初の頃は長い尺を吹くなあと考えていたのがここ最近短い感じに思えてきてなりません。ご縁を結ばせてもらって長い年月が経つのですが、実際はあっという間の月日・・・途中コロナで中断していた時期も有りましたが。。とにもかくにも今年も難有くお邪魔する事が出来たなという実感が強かったのが正直なところでした。感謝



文責 東光寺 英隆